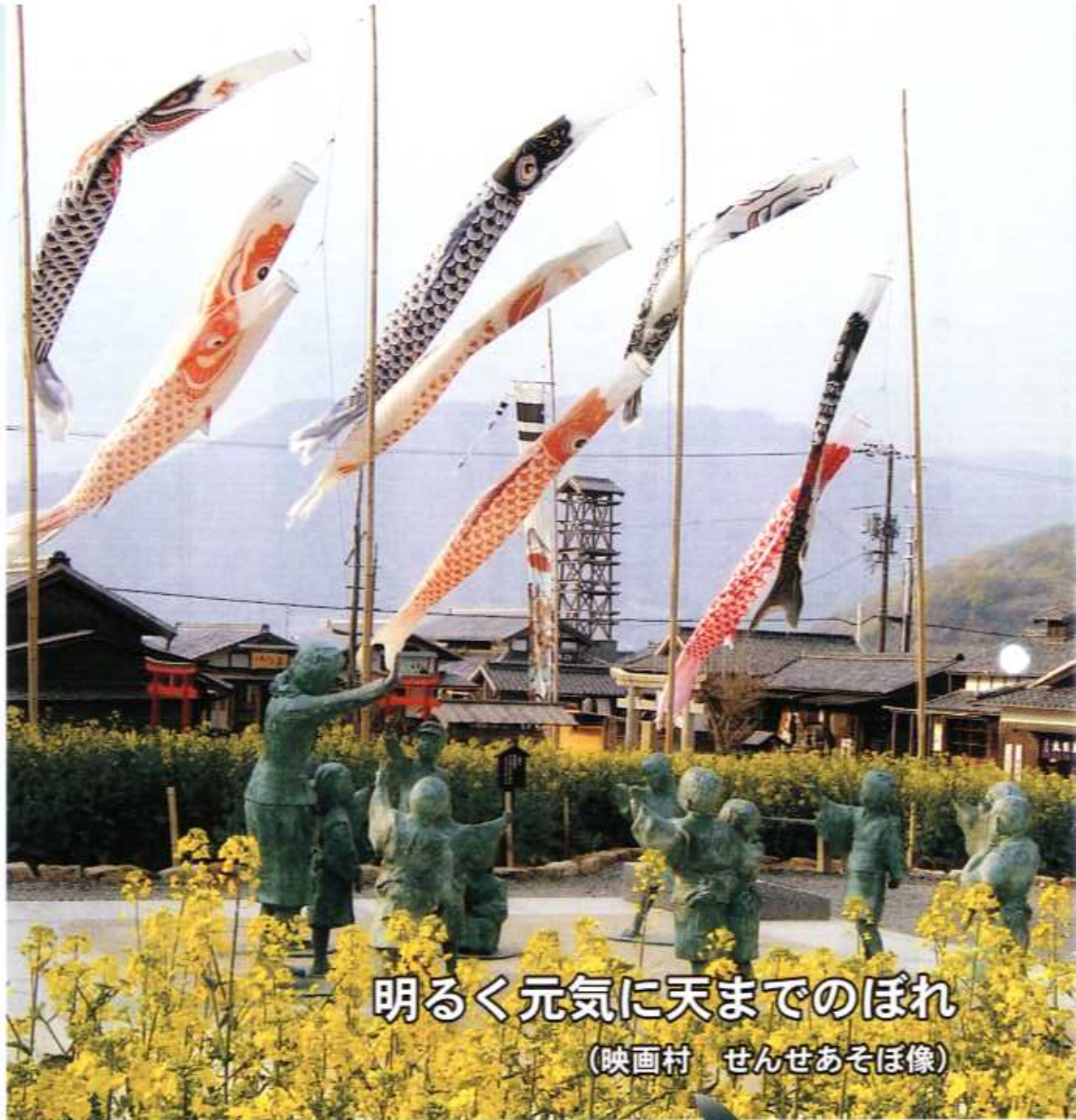




しゅまほし
しまほし



明るく元気に天までのぼれ

(映画村 せんせあそぼ像)

議会だより



2007年 No.4
平成19年5月1日発行

- 施政方針をただす P2~7
庁舎のあり方についてなど
17名が活発な質問
- 委員会活動報告 P7
- 審議議案 P8~9

■発行/小豆島町議会 ■編集/小豆島町議会広報編集委員会

〒761-4388 香川県小豆郡小豆島町池田2100-4 TEL(0879)75-1100 FAX(0879)75-0108

新年度の 施政方針をただす

小豆島町がスタートして2年目の3月定例会第1日目(3月2日)は、坂下町長から平成19年度の施政方針の表明がありました。第2日目(3月8日)に、これに対する質問を17人の議員が行いました。
効果的・効率的な行財政運営の推進、オリープの振興、高潮対策、分庁舎方式のありかたなど質問の中から、主なものを5つの柱にしたがってまとめました。

【傍聴者 8名】

誰もが元気で健やかに暮らせる 健康・福祉のまちづくり



森口 久士 議員

森口議員 福田診療所は、具体的にどのような改善策を考えているのか。

答弁 財政状況は、平成18年の暦年での経常収支で約900万円の赤字です。経営の合理化は、収入を伸ばすか、費用の削減を図るかです。現実是非常に厳

しい状況です。町として現状の診療体制を維持しながら、財政的にも有利な状況は、赤字額の3分の2を補てんする現状の体制です。地区の同意を得て診療体制の一部削減ができるならば、また、別の方策を考慮していけます。



森 崇 議員



あすなるの家

森議員 心身障害者こそ健常者と行政が支えるべきものだ。国・県のやり方はひどいものだが、町として「あすなるの家」に今までどおり全面的な支援をするべきでないか。

答弁 障害者自立支援法が平成18年10月より全面的に施行され「あすなるの家」

などの小規模通所作業所については、法定施設への移行が求められています。法定施設となると報酬を得ることができずが1割負担があります。9割については国・県・町が賄います。法の対象にならない利用者、町が援助しなければならぬと考えています。

答弁 障害者自立支援法が平成18年10月より全面的に施行され「あすなるの家」



藤井 源詞 議員

藤井議員 島民から「信頼され、選ばれる病院」であり続けたいと言われている。医療の現場に優秀な人

材を配置する方策は持っているか。小豆島では、もうしようがない、限界だと考えている人達が多く、あきらめて島外の病院へ行かれているが。

答弁 医師と患者は、対等とは言っても、診てもらった側が遠慮し、思うように言えないということを経験しているのか、看護師が理解しているのか、看護師が隙間を埋めているのか、気配り、目配り、心配りができているのか、常に注意しているところですか。常勤医師の配置について、意のままにならないこともありますが、派遣元との連携は取れています。優秀な人材確保は、不断の努力はしていますが、今後は、より戦術を考えます。

答弁 医師と患者は、対等とは言っても、診てもらった側が遠慮し、思うように言えないということを経験しているのか、看護師が理解しているのか、看護師が隙間を埋めているのか、気配り、目配り、心配りができているのか、常に注意しているところですか。常勤医師の配置について、意のままにならないこともありますが、派遣元との連携は取れています。優秀な人材確保は、不断の努力はしていますが、今後は、より戦術を考えます。



町民の命を守る内海病院

山中議員 全国的に自治体病院は医師、看護師不足が叫ばれているが、内海病院での充足率は、電子カルテシステムの運用状況は。

答弁 内海病院では、医療法に定められている医師数、看護師数は十分満たしています。電子カルテに移行し4カ月が経過し、職員もシ



新名 教男 議員

心豊かな人を育む
教育・文化のまちづくり

新名議員 教育施設の再編整備を検討する組織とは、どのような方針を想定しているのか。
地域に密着した「木造の小さな学校」の建設こそ、全国に誇りうる小豆島町の



町民ギャラリー（オリーブナビ小豆島）

秋長議員 シルバー人材センターの法人化をめざすためのスケジュール、今後の方向性は。



秋長 正幸 議員

システムの流れに少しずつ慣れてきたように思われます。大きな混乱もなくスムーズに運用できています。外来では待ち時間が半減し入院では、患者サービスに充てる時間が増えています。

答弁 現在契約している事業者は継続します。退職者のある事業所などへの新規開拓に対し支援します。
社団法人は、社会福祉協議会の支援のもと、準備をしていきます。「設立協議会」の設置後、必要な審議を行い平成19年度中に新法人設立をめざします。今後高齢者の方々に対して就業の場を提供することにより、活力ある高齢者の実現に重要な役割を果たすものと考えます。
60歳代の会員を増員させ、会員の若返りを図り、仕事の増大に結びつけるよう協力していきます。

特色であり、今なぜ小学校の統合なのか。
答弁 少子化に加え、施設のひとつが耐震診断の結果、問題があるとのことです。中、長期的な計画で整備を進め、よりよい教育環境づくりをめざします。
新名議員 「町民ギャラリー」の展示内容や利用促進の周知方法は。
答弁 年間利用計画を立て、町広報誌やホームページなどで周知します。減免制度もあり、どなたでも利用できます。

植松議員 内海中学校体育館は避難施設だけでなく、文化ホールとしても再考しては。
答弁 建設検討委員会では、同規模で計画する方向が示され、基本設計が了承されています。避難場所として利用することや、部活動、社会体育関係などの利用状況も勘案し、現体育館と同程度の規模です。
現時点では、文化ホールとしての利用は考えていません。仮に、文化ホールとして使用する場合は構造も変わり、収容人員、音響設備の面など、多額の予算が必要になるので、検討委員会でも改めて審議が必要と考えています。

銅谷議員 所得税の定率減税半減による増税の影響で、保育料が引き上げにならないよう基準改定をすべきでは。
答弁 厚生労働省の正式文書を受けた後、子育て世帯に影響がないよう、今回の税法改正によって保育料が引き上げにならないことを基本に基準額表を改正します。



井上喜代文 議員

井上議員 ふるさと発見・町民健康ウォークは大変素晴らしい計画だ。くわしい内容は。
答弁 自分たちの住む町を歩いて散策しながら、健康づくり、体力づくりに取り組み、世代間、地域間の交流を深めることを目的に実施する予定です。
「いつでも、どこでも、いつまでも」の生涯スポーツ推進のスローガンのもと子どもから高齢者まで、よ



内海保育所橋分園

り多くの方が気軽に参加できる行事として19年度で新しく計画しています。開催場所や内容は、各種団体・関係機関と相談し決定しますが、開催日は3月下旬を予定しています。



小豆島オリーブウォーク

豊かな自然環境と共生する快適で
安全な生活環境のまちづくり



谷 清 議員

谷議員 安田～橋間のトンネル工事の用地買収の継続実施と、本体の掘削に着手とあるが、進捗状況と概要は。

答弁 現在、トンネル部前後の工事が進行中で、18年度末の進捗率は事業ペースで約25%となっています。新年度には、本格工事の発注が見込まれており、20年代の早い時期を完成目標とする、と県から聞いています。

改良後は道路が約12km短くなり、急カーブ、急勾配が解消され、車による所要時間が5分程度短縮されます。なお、この事業は国庫補助のため、町の負担はありません。



工事が進む安田～橋間の国道改築



渡辺 健 議員

渡辺議員 高潮対策は被災者の方は一日も早い対応を願っている。地区名などが示されたが、その内容はどのようなものか。

答弁 県営事業の池田港と古江、苗羽地区への予算要求をしている段階です。

町営事業の植松ポンプ場は、20年度より工事に着手する予定です。馬木川と堀越漁港の護岸嵩上げ工事は、地元との協議、調整を行い、意見がまとまった後に着手の予定です。



村上 久美 議員

村上議員 内海ダム再開発について、関連事業の調整段階に進んでとあるが、新たな関連事業への着手とはどういう事業なのか。

答弁 平成18年度中に95%の用地買収が完了する予定であることから、随時、工事発注も行われると思っています。

約37万㎡の建設残土の排出が予定され、地権者との交渉が行われています。



中江 正 議員

中江議員 総合計画のアンケート調査に要望が多く集約され、重要な課題でもある公共交通の充実について、施政方針にはないが。

答弁 地方バス路線は、運賃の値上げや減便、路線廃止による利用者減という悪循環を招いていましたが、平成14年3月の路線全体の見直し以降、バス事業者の経営努力によって、現在のところ、海上交通とともに自治体負担を要しない状況です。交通政策全般に関して申し上げる段階ではありません。



内海ダム町道付替道路(工事中)

今後、総合計画審議会などで、十分な議論をいただき、基本計画部分に反映、検討します。



手作りの導流堤(入部)

中江議員 蒲生、池田港付近、二面などの海岸では、生活排水溝口が海砂によってほとんど埋まっていた。定期的に海砂の撤去が必要と考える。県に調査を依頼してはどうか。

なお、水路末端の海岸の砂止め壁も水路の一部と解釈して、自治会への材料支給の対象とします。

秋長議員 高潮対策、馬木川への取り組みは、馬木川護岸嵩上げと馬木川入口の対策は。

で、明確な回答を得られていません。今後、早期に水門設置が行われるよう粘り強く要望します。

答弁 馬木川の河川断面のままでも早期に行える高潮対策だけでも実施すべきと考えています。護岸嵩上げの計画は、地元の意向を十分にうかがい実施します。河口部での水門設置も検討しており、設置箇所が県管理の港湾区域であることから県へ要望しています。現地の状況は理解していただいています。海上作業で事業費も多額となるの



高潮対策が求められる馬木川

魅力と活力にあふれた
観光・産業振興のまちづくり



藤本 傳夫 議員

藤本議員 「オリーブ室」の業務範囲は、オリーブの島「小豆島」のイメージを守るため、輸入オイルなどの表示基準の明示、監視に力を入れては。

答弁 植栽希望者への苗木配布、荒廃農地再整備事業、栽培管理講習会などを聞き、名実ともに「オリーブの島」となるよう、産地形成の確立をめざします。
小豆島オリーブ協会では、独自規約で、食用オイルには、名称、原料名、内容量、賞味期限、保存方法、製造業社名を共に表示し、輸入品は原産国を表示。
小豆島産オリーブ油とは、島産で島内で採油、製油加工したオイル100%が条件です。



名実ともにオリーブの島へ

森口議員 「商品券事業」や「スタンプ事業」について、小豆島商業協同組合の商品券の取り扱い加盟店は、池田地区では現在7店で、利用者は不便との声があり、スタンプ事業も同様の扱いと聞きます。池田町商工業協同組合発行の券も現在あります。

答弁 新規組合員を増やしていく努力を今後も続けるのとこのことで、今春にも旧池田町としてこれらを一本化するののか。

答弁 新規組合員を増やしていく努力を今後も続けるのとこのことで、今春にも旧池田町としてこれらを一本化するののか。

旧町から2、3件の加入者が予定されています。利用者の立場から、商品券の一本化が好ましいことです。両組織の調整が必要ですので、利用者の声として伝えます。



2種類の商品券

森議員 オリーブ100周年記念事業を一過性なもので終わらせないため必要不可欠なものが海上交通・陸上交通の確立だ。しっかりした方針はあるのか。

答弁 大きな節目となる記念事業を成功させ、地域の活性化を図るには海上・陸上のアクセスが必要で、海上交通は他島に比べ便利ですがバスは減便により、連携が悪化しています。平成19年度に実証的な意味で大部・福田港からオリーブナビ小豆島(西村)までイベントバスを業者が中心となって運行すべく協議を進め

ています。交通問題特別委員会の意見をいただきました。

渡辺議員 映画村開村20周年を記念して、唄「二十四の瞳」をCD化して、小豆島をPRするのに活かさないか。

答弁 著作権や版権の問題、作成までの経費や、テープなどが売れ残った場合のリスクなどを考えると、販売を進めていくのは現段階では難しいと考えます。



映画村 (キネマの館)

植松議員 産業・観光の振興でのまちづくりを第一にすえ、財源確保から始めるべき。

クラスター事業への強力な後押しが必要では。

答弁 食品産業・観光産業の振興なしに小豆島町の活性化は不可能です。町行政では、必要な行政サービスを行うために、ある程度財源が分散してしまっているのは、バラマキではなく必須の施策です。重要施策を多く抱える現在、バランスを考え、取り組めます。

「食料産業クラスター」展開事業「補助金をはじめ、農林水産省と経済産業省の両方に補助事業があるので、比較のうえ、より有利な事業を選択します。



植松勝太郎 議員

※クラスターとは、地域で産学官連携の広域的なネットワークを構築して、新産業・新事業を生み出すような事業環境を整備することです。



浜口の郷



浜口 勇 議員

浜口議員 オリーブ植栽100周年記念事業をチャンスとして、全町民が一丸となれる施策が必要である。今、オリーブ油が健康食品として注目され、植栽も進むなか、町長にはこれらのトップセールスマンとして活躍すべきでは。

答弁 オリーブ100周年を一過性なものでなく、終了後も継続した集客に向け、人材の育成や組織化など、受け入れ態勢の整備、収穫量の安定確保、新たな商品化や販売戦略など、栽培から加工販売、消費拡大まで、総合的なオリーブ振興策を推進していきます。

町民一人ひとりが
主体的に取り組むまちづくり



安井 信之 議員

安井議員 交流と連携のまちづくりについて、移住者の受け入れ環境の整備に努めるとあるが、具体的には、

答弁 平成19年度は、これまで実施した各種調査事業の成果を参考に、住宅や農地などの遊休資源に関する情報収集やその確保に加え、移住者が島暮らしを楽しむためのメニューの開発などを検討、実施したいと考えています。

「小豆島移住・交流推進協議会」(仮称)を組織し、ホームページでの移住情報の発信や、相談窓口の設置など、官民が協働で、移住受け入れの仕組みづくりに取り組みます。

安井議員 効果的・効率的な行財政運営の推進は、早期に分庁舎方式から本庁舎方式への検討をすることが重要と考えるが。

答弁 本庁舎方式への考え方については、早期に検討を始めるべきと考えています。集中改革プランの中でも、平成19年度から平成22年度までの4年間を検討期間とし、その後、本庁舎の整備を経て、遅くとも平成25年度中に本庁舎方式への転換を図ることを目標としています。



小豆島移住・交流推進検討会

藤本議員 地籍調査事業によって確認された、里道水路などで不要の土地、現状とそぐわない土地が小豆島町で何件あり、払い下げてもよい土地であれば、町から希望者を募集するか、あるいは競売しては。

答弁 里道・水路を隣接所有者・自治会・水利組合などの同意を得、用途廃止を申請し認可を受ければ、町として払い下げしています。平成18年度は2月末現在6件、157万9000円の実績です。町名義の遊休地の整理は、競売を含め積極的に取り組みます。



山中 彰 議員

山中議員 分庁舎方式の欠点と、組織における一体感の欠如などの説明を。

答弁 決済事務や文書連絡事務の効率性の悪さ、組織としての一体感の醸成や連携の難しさや、総合的な対

応が難しく庁舎管理経費や通信経費もかさむなど、ITで補いきれない点があります。会議などで多くの職員が移動するロスが生じています。

健全財政を堅持しつつ、職員数の削減を中心とした行財政効率化に努める必要があり、本庁舎方式への転換を検討します。今後、新庁舎建設の選択肢もあり得ると考えます。

谷議員 分庁舎方式から本庁舎方式への転換を視野に入れ、庁舎のあり方について検討に着手したいとあるが、どのような事項を検討するのか。

答弁 現在の庁舎は、本庁舎が昭和35年、分庁舎が昭和30年の建築で、すでに50年を経過しています。耐震性や老朽化の程度、住民サービスや防災の拠点としての役割から、近い将来何らかの対策が必要と考えます。このことから本庁舎方式への転換も視野に入れて、住民サービスの体制維持・位置・規模・財源などについて検討します。

井上議員 健全な財政基盤を構築していくためには、事務事業の一層の効率化による経費の削減が不可欠だが、未収金についての対応はいかに。

答弁 地方自治体は、住民の福祉の増進に努め、最小の経費で最大の効果をあげるといふ責務を負っています。また、あらゆる面での経費節減に努め、過年度分の未収金は、専門的な知識をもとに対応する「収納対策室」を出納室内に設け、税、使用料、手数料をはじめ、病院や水道の未収金についても対応できる組織とします。



池田 庁舎

村上議員 合併後の庁舎のあり方を抜本的に見直すことが不可欠、本庁舎方式の

転換に着手、分庁舎方式の欠点が予想以上に顕著とあるが、職員を大幅に減らしていくことになり、住民サービスを後退させ不安になるばかりではないか。

答弁 大幅な削減については、より少ないコストで住民サービスの維持向上を図る上で避けて通れないものの一つです。

ご批判もありますが、議会や住民からご意見を聞き、十分な検討を行いながら着手したいと考えています。



新茶 善昭 議員

新茶議員 Uターン、Iターン、Jターンについて、新聞、広報での反響は。

答弁 2月8・9日に実施した「空き家実態調査」や2月14日に開催の「小豆島移住・交流推進検討会」に対し、テレビ局や多くの新聞社の取材がありました。

町内ホームページを見た島外の方から、「空き家紹介」の電話やメールが数件あり、小豆島への関心の高さを実感しています。「空き家実態調査」を基に、「空き家の家主などに対する意向調査」を早急に実施し、住宅情報などが提供できるよう努めます。

新茶議員 男女共同参画社会の実現をめざすとあるが、意識啓発など、都会に比べ遅れているのでは。

答弁 「スマイルネット池田」と「キラリうちのみ女性会議」が統合し、「スマイルネット小豆島」となり活動しています。

人々の意識や行動、社会の習慣・慣行の中には、性別による差別や偏見、男女の役割に対する固定的な考え方が根強く残り、男女の多様な生き方の障害にもなっています。

今後、いろいろな機会を利用して、あらゆる分野の女性の参画の拡大について、社会的機運の醸成を関係諸団体に要請していく考えです。



人権・同和教育講演会



鍋谷真由美 議員

鍋谷議員 町政運営における羅針盤ともいえる小豆島町総合計画策定とあるが、町長はどのような町をめざそうとしているのか。

もっと町民の中に入って、町長の考えを伝えるとともに、町民の声を聞くことで、真の協働の町づくりを進めては。

答弁 小豆島町総合計画策定にあたっては、これまでのアンケート調査の実施などに加え、基本構想についてのパブリックコメント、意見公募を実施します。議会の意見を拝聴しつつ、総合計画審議会です十分審議いた

だくなど、住民の意見に耳を傾けて策定作業を進め、総合計画案の中で新町のめざすべき姿、進むべき方向性を示します。

住んでよかつた、生まれ育つてよかつたと思える町をめざします。里村・集落が元気が出る方向で取り組む考えです。

浜口議員 芸術、文化の香りがたつたようにするには、世界や日本で有名な人に住んでもらえる町にしなければならぬと思うが、よい方策はあるか。

答弁 一朝一夕に実現するものではないが、現在、神



神下雄吉氏の絵画（サン・オリブ）

委員会活動報告

教育民生常任委員会

下雄吉、宮田保史の両画伯がオリブ公園付近にアートリエを構え、創作活動をされています。

た東京芸大の芸術家村構想シンポジウムで、小豆島が候補地の一つに挙げられています。

今後も新進気鋭の芸術家の創作活動の場となる芸術家村の実現をめざし、県の協力もいただき、芸大との協議を進めます。

内海ダム特別委員会

平成19年2月19日委員会を開催し、町長、担当課職員の出席を求め説明を受けた後、各委員より質疑、意見を求めました。

◎内海ダム再開発事業の進捗状況について

主な意見

① 道路法面の緑化は、根の張りやすい木、保水性の高い木などの生育基盤として配慮し、連続繊維補強土工法によることが望ましい。

② 施設整備については、地元住民が多目的で長期的に利用できるよう、観光客との利用区分を検討することが望ましい。

③ 中尾根の残し方については、緑化方法、樹種及び維持管理が容易にできることを考慮してほしい。

主な意見

① 施設整備に関しては次期諮問委員会を設置することだが、委員の人は選ばれる意向が反映されるようお願いしたい。

② 旧町の策定委員会の答申を基に、協議されたい。

③ 内海地区の3幼稚園に關しても保護者のニーズに沿った形で、小学校も含めて検討願いたい。

④ 小学校の統合において、一旦複式学級にする授業内容を変えてしまい、普通学級に戻すには、子どもに負担となり時間がかかる。できるだけ、複式学級は回避してもらいたい。

⑤ 跡地を検討するに当たり、担当課だけで考えるのではなく、町全体の計画の中で検討願いたい。

◎あすなるの家の運営補助について

主な意見

① 制度改正の中、あすなるの家全体で考え、個人にできるだけ負担をかけないよう努められたい。

② 担当課としてあすなるの家と協議のうえ、早々に体制作りを協議されたい。

◎小学校耐震診断結果と対応、小学校統合問題について

合併2年目のまちづくりへ

平成19年度予算可決

3月定例会を3月2日から3月26日までの25日間の会期で開き、第1日目は坂下町長から、平成19年度の施政方針をはじめ、各会計予算や新規条例、条例改正など32議案、議員発議による条例及び規則改正2件が提案されました。

第2日目は、町長の施政方針に対する質問、答弁を行いました。

第3日目は、一般質問や条例改正など一部を可決し、各関係予算、新規条例などはそれぞれ常任委員会に付託しました。

さらに、第4日目（最終日）には、付託議案の採択や、追加議案として、人権擁護委員の推薦、平成18年度各会計補正予算など12件、議員発議による意見書1件が提案され、すべて原案どおり可決しました。

審議した主な議案

平成19年度予算・意見をつけて可決

新年度の予算14件は、総務、教育民生、建設経済の各常任委員会に付託して、延べ7日間にわたって審議しました。その結果、次のような意見をつけ、賛成多数で原案どおり可決しました。

〔一般会計〕

〔総括〕
地方交付税の大幅な減少や、補助金の削減等により財源不足は一層深刻の度を増している。

今後とも歳入の確保に努めることはもとより、簡素、公正を旨とした行政推進を図り、合併による規模の効果を生かした行政改革の取り組みや、最小の経費で最大の効果をあげるべく先進地の事例を学び、それを計画の立案に生かすなど、効果的な予算執行により、町民の期待と信頼に応えられるよう行政運営を推進したい。

今後とも歳入の確保に努めることはもとより、簡素、公正を旨とした行政推進を図り、合併による規模の効果を生かした行政改革の取り組みや、最小の経費で最大の効果をあげるべく先進地の事例を学び、それを計画の立案に生かすなど、効果的な予算執行により、町民の期待と信頼に応えられるよう行政運営を推進したい。

〔企画財政課・税務課〕

税源委譲により所得税が減額され住民税が増額されることになるが、納税者に対する周知が十分でないように思われる。

町広報誌は町の施策を周知するには最良の方法である。住民に知っていただきたい情報については、わかりやすく、また再三にわたって周知願いたい。

〔農林水産課〕

1. オリーブ振興については、苗木の助成配布や遊休荒廃農地の再整備事業など、栽培促進に向けた取り組みは評価できるが、新たな商品化や販売戦略の推進が不可欠である。

今後はオリーブを小豆島ブランド商品として高

級化を図り、付加価値をつけて販売できるよう取り組まれない。

2. 樹木の喪失は、温暖化等に拍車をかけることほもとより、今ある湧水の減少やその他自然に住む生物に重大な影響を与えることが考えられる。

まちづくりの中で自然環境や緑の問題を本格的に検討する時期にきていると思われる。今後は施策に掲げ、取り組まれた

〔商工観光課〕

町が補助金を支出している(社)小豆島観光協会に対しては、組織に対する公金の支出が、単に慣例、前例の踏襲のみを理由に実施されていらないか。

また、常に費用対効果を考察するとともに、公益的な観点から適正な活動、運営がなされるよう、一層の指導を図りたい。

〔病院事業会計〕

病院事業の経営においては、医療収益の中で大きな比重を占める診療報酬は、国の医療費抑制政策により、収益の伸びは期待でき

ない一方、建設に係る減価償却費や人件費、維持管理費などの支出は、経常収支に大きな影響を与えている。

さらには、病院建設事業の企業債元金の償還もあり、経営環境は今後も厳しい状況が続くものと推測され、累積欠損金の拡大が懸念される。

安定的な財政基盤確立のため、医療費用のさらなる内容精査、設備投資の効率化など経営の健全化への真摯な取り組みを望むものである。

〔介護老人保健施設事業会計〕

平成17年度の収益的収支では、開設以来、初めて純損失が生じ、未処理剰余金が大いに減少した。

今後は、開設時に購入した機械器具の修理や更新、建物に係る修繕も増加するため、安定した利用者数を確保するとともに、サービスの維持向上を目指しながら費用の見直し、削減に努められたい。

平成19年度一般会計・特別会計
企業会計予算

(単位：千円)

区分	会計区分	本年度 予算額	前年度 予算額	増減額
一般	一般会計	7,885,000	7,703,000	182,000
特別 会計	国民健康保険会計	2,181,441	1,966,073	215,368
	国保診療所会計	43,169	52,253	△ 9,084
	老人保健会計	2,631,399	2,950,792	△ 319,393
	介護保険会計	1,256,833	1,329,527	△ 72,694
	介護サービス会計	74,480	85,515	△ 11,035
	介護予防支援会計	12,232	6,149	6,083
	簡易水道会計	46,703	30,952	15,751
	計	6,246,257	6,421,261	△ 175,004
	企業 会計	水道事業会計	447,213	460,737
病院事業会計		3,208,745	3,186,904	21,841
介護老人保健施設 事業会計		313,854	313,851	3
計		3,969,812	3,961,492	8,320
合計	18,101,069	18,085,753	15,316	

人権擁護委員に森川桂輔氏と
竹本郁子氏を選任

現在の人権擁護委員の森川桂輔さん(西村)と竹本郁子さん(安田)の任期が6月30日をもって任期満了となりますので、引き続き同氏を再任することに決定しました。



竹本 郁子 氏 森川 桂輔 氏

○小豆島町副町長定数条例

助役に代えて副町長を置き、その定数を定めます。

○小豆島町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例

行政機関における手続き等をオンライン等により行えるようにします。

○小豆島町放置自動車の処
理に関する条例

町内の公共の場所へ不法に投棄されている自動車を適正かつ円滑に処理することと、町民の安全で快適な生活環境の保全及び地域の良好な景観の維持を図ります。

○小豆島町立学校条例の一
部改正

平成19年4月1日から西村幼稚園と草壁幼稚園を統合するに伴い、西村幼稚園を廃園とし、統合幼稚園の名称を星城幼稚園とします。

○小豆島町中小企業融資
例の全部改正

自治体が行う中小企業融資に関し、全国の信用保証協会における信用保証に関する統一ガイドラインが示されたため、本条例の全部改正を行うものです。
また、融資申込者の心理的負担軽減や経費の削減のために、中小企業融資審査会を廃止します。

平成18年度一般会計補正予算

減額補正予算額は1億2526万1千円で、補正後の予算総額は77億8004万3千円となります。主なものは、次のとおりです。

○民生費関係

老人保護措置費委託料

△ 700万円

介護保険会計繰出金

△ 807万3千円

乳児医療費

△ 928万7千円

草壁保育園等運営委託料

△ 506万9千円

○衛生費関係

介護サービス会計繰出金

1200万円

○土木費関係

県営事業負担金(港湾)

△ 2161万9千円

○教育費関係

内海中学校校舎建設等工事

△ 4214万円

池田中学校スクールバス購入事業

△ 471万2千円

合併処理浄化槽設置補助金

△ 696万9千円

小豆地区広域行政事務組合負担金

△ 410万3千円

内海病院整備基金積立金

518万4千円

自治功労表彰



2月21日、香川県町村議会議長会定期総会において、中村勝利議長、鍋谷真由美議員が全国町村議会議長会から議會議員15年以上の自治功労表彰を受賞されました。

議会日誌

1 月

31 小豆地区広域行政事務組合議員視察研修 (広島県呉市)

2 月

1 小豆地区広域行政事務組合議員視察研修 (広島県大竹市)

8 教育民生常任委員会
(あすなろの家の運営補助についてほか)

9 小豆郡町議会議長会 (土庄町)

13 総務・教育民生・建設経済常任委員会視察研修
(愛媛県内子町)

14 * (高知県馬路村)

15 * (徳島県上勝町)

17 小豆島町合併記念式典

19 内海ダム特別委員会
(内海ダム再開発事業の進捗状況についてほか)

21 香川県町村議会議長会(総会及び定例会) (高松市)

23 議会運営委員会(第1回定例会の運営)

24-5 第15回小豆島オリブ杯ゲートボール全国大会

26 パレスチナ国別研修受入(合併、議会運営について)

3 月

2 第1回定例会(第1日目)

7 小豆地区広域行政事務組合議会定例会 (土庄町)

8 第1回定例会(第2日目)

* 議会広報編集委員会(議会だより第4号の編集)

9 第1回定例会(第3日目)

12 建設経済常任委員会(付託議案審査)

13 総務常任委員会(付託議案審査)

14 教育民生常任委員会(付託議案審査)

15 * (付託議案審査)

16 建設経済常任委員会(付託議案審査)

19 教育民生常任委員会(付託議案審査)

20 総務常任委員会(付託議案審査)

23 議会運営委員会(第1回定例会の運営)

* 議会広報編集委員会(議会だより第4号の編集)

26 第1回定例会(第4日目)

4 月

2 議会広報編集委員会(議会だより第4号の編集)

10 議会広報編集委員会(議会だより第4号の編集)

議会広報編集委員



左から 森 藤本 森口 谷 秋長 渡辺 鍋谷

住民の声



『地域との連帯感』

松崎 秀 徳 (東蒲生地区総代)

蒲生地区全域においての行事は、古くは小学校があった時代から何をしても強い連帯感がありました。現在の公民館活動を見ても、4地区、各種団体による協力で円滑に活動が行われています。今年3月、蒲生公民館で行

われた文化展示会には、絵画・書道・手芸など数多くの作品が展示されており、観る者を魅了させていた。1年おきに、スポーツ大会や演芸大会も行われます。毎回「老若男女」多数参加いただき好評です。昔からの顔なじみがあり、久しぶりに顔を合わせ、日常

の話や家族の話題が蒲生地域のつながりを感じます。また、蒲生地区防災の会が4地区で組織されており、手始めとして消防士を招き、防災についての基本的な心構えや実技指導をいただきました。さて、防災訓練はしたものの、何分にも手探りの状態で今後さらに地域挙げての防

災意識の高揚を図っていきたいと思います。東蒲生地区では、今年の目標を「環境に美しく」と、生活の身近なところから「ごみの収集日の徹底」とし、皆さんと共に気持ちよく利用できる、ごみステーションにしたいと思っています。

編集後記

小豆島町がスタートしてはや一年が過ぎました。

3月議会では、新年度の施政方針が示され、質疑応答がありました。その内容は紙面の都合上すべて載せられないのが残念です。

議会は、どなたでも傍聴できます。ぜひお越しください。

さて、本年度は小豆島町の中・長期計画となる「小豆島町総合計画」策定や、教育施設の再編整備の組織の設置、また庁舎のあり方についての検討など、将来の町のあり方についての基礎づくりの重要な年になります。

議員一同、これらの課題に力を合わせて取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

渡辺 慧 記